

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191300120		
法人名	ライフサポートNEO		
事業所名	グループホームふおれすと小城センター		
所在地	佐賀県小城市牛津町勝813-2		
自己評価作成日	令和3年4月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年5月6日	外部評価確定日	令和3年9月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

各利用者様が楽しみを持って一人一人が役割を持って生活が送れるように支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

1年程前に事業主体者が替わったが、利用者の尊厳を尊重し、利用者主体の「利用者目線」での支援に変わりはない。利用者は、ゆったりとした時間が流れる中で、自分のペースで暮らしている。職員は大多数がそのまま残っており、家族の安心感にもなっている。職員の笑顔のある支援や訪問時の対応には、家族の評価も高い。また、施設長自身が常に自己研鑽に励んでおり、スタッフと一体になって質の高いサービスをめざしている。事業所の周りは民家や田園地帯が広がっており、四季の変化を感じさせる。近くにはお宮もあり、散歩コースにもなっている。コロナ禍で面会や外出に制限はあるが、感染には細心の防止策を講じながら、外気浴をしたり、数回は人が少ない場所へ外出し、閉塞感が無いように努めている。ガラス越しの家族との面会や電話での支援、居室の環境づくり等で家族との絆の継続を図っている。事業所が立地する地形的条件から過去にも周辺が大水に見舞われた事もあり、想定される避難には地域と連携しながらも、事業所独自の避難場所や避難経路を設定し、利用者の安全を図っている。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念斉唱を行い利用者目線になってケアに取り組んでいる。	事業者が替わり、現事業所開設にあたって、「利用者の人としての尊厳を尊重する」ことを根底にし、それを具現化するために、全職員で話し合って本年度の目標を設定している。理念は玄関とホールに掲示し、毎日の朝会で斉唱し、理念への意識を高めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	昨年はコロナの影響で地域の夏祭りには参加出来ていないが、毎月区長が市報配布の際に対話を行っている。	事業所が地域から理解され、地域の一員としての関わりを積極的に果たすため、地域の自治会に加入している。普段の近所づきあいの中で、事業所を理解してもらい、地域の一員としての事業所を目指している。現在、コロナ禍のため、地域とのつきあいに制限があるが、これまでは水天宮祭りや伝統の面浮立、町の産業祭等にも関わりを持っていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在、取り組んでいないが今後は少しずつ交流を持てるようにしていく。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、取り組んでいない。	前身の事業所の頃から地域との関係づくりを重視している。年6回の開催計画であるが、現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、各委員が出席しての会議は1回目だけでその後は開催されていない。各委員に利用者支援の取り組みや課題等を会議資料として送付して、意見を求めている。 管理者は、事業所の安全管理につながる周辺の街灯設置について関心を持っている。	現在、推進会議の構成メンバーに、利用者や利用者家族の委員が含まれていない。会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしていくためにも、構成メンバーについての再検討を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議はコロナの影響で開催出来ていないが、会社内で協議した内容を書面にて渡しており、市町村との協力関係の構築に積極的に取り組む予定である。	事業者変更にあたって、行政と相談することも多かった。現在は、事業所の実情や利用者の暮らしぶりを資料で伝えたり、行政の担当課に出かけて、課題や諸情報を共有している。最近、新型コロナワクチン接種に関する会議への出席や情報の共有が多かった。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。	身体拘束の事例は無い。職員は、介護研修会や具体的な事例を通しての勉強会で身体拘束の弊害を十分に認識しており、身体拘束の無い支援に取り組んでいる。勉強会では、施設長はスピーチロックを含むわかりやすい諸資料を準備して、職員の認識を高めている。屋間の玄関の施錠は無く、家族の面会はガラス越しに行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を開催しスタッフに周知徹底を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所で以前管理者が行った研修資料を閲覧できるようにし、今後、定期的に勉強会を行う予定にしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お意見箱を玄関先に設置しており、現在までは記入された形跡はないが、面会時に口頭で対応させて頂いている。	事業者の変更に伴い、家族からの意見を聴いている。「以前からのスタッフが残っているので安心した」、「スタッフの利用者に明るく優しい言葉かけが聴けて良かった」、「コロナ禍で面会が制限があるので近況報告がほしい」等の意見や要望が寄せられている。それらを運営に反映させ、質の高いサービスに結びつけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員参加の会議を開催している。	毎月定期的に会議を開催している。正看護職員の配置、コロナ禍期間中の面会のあり方、感染症対策マニュアルの勉強会の実施、利用者の誕生会の持ち方、第1回ふおれすと運動会や外出等の行事内容等の検討は、運営に反映している事例である。 また、利用者との日常的な関わりの中で生まれる職員の気づきや提案を支援に活かすように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在はコロナ禍のため、出来ていないが、今後は外部主催の研修・公衆への参加で交流の機会を設けたいと考えている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全職員が努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	随時行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	随時行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	出来るように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めている。	現在は面会や外出の制限で、思うような支援ができていない。家族との面会は玄関でガラス越しでの支援である。遠方の家族からの電話も多く、絆を継続するようにと支援に努めている。 これまでは、時々馴染みの友達が見えて一緒にレクリエーションへ参加することもあった。また、利用者の自宅付近やその周りまで出かけた時、食材の買い物にお店まで同行して、よく出会う客と顔なじみになる利用者もいた。コロナ禍が収束すれば、これまでと同様に、様々な関係継続の支援が考えられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご希望に応じて対応したいと考えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	努めている。	「利用者目線」による支援を目指している。そのためにも、利用者との日々の暮らしの中で、会話や表情、ふれあいの中で意向等の把握に努めている。また、家族からの聴き取りを大事にしている。 把握した利用者の意向は、全職員で共有し、毎日の支援に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来ている。	利用者がより良く暮らすために、サービス担当者会議の中で、利用者、家族、ケアマネジャー、主治医と協議し、利用者や家族の意向を反映した介護計画が作成されている。利用者主体の暮らしを支援する計画である。利用者の担当制を採っており、毎月、利用者の暮らしの用等が細やかに記録されている。利用者の状況に応じての見直しもきちんとされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	出来ている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限りの範囲で取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	支援している。	入居までの受診状況を把握し、利用者や家族の希望する病院での受診である。主治医の往診は2週間毎である。協力医療機関とは何時でも相談ができる関係にあり、利用者が体調を崩し、夜中に主治医の往診をお願いし、主治医の指示で救急車を呼んだ事例もある。歯科医は訪問診療で、義歯の調整等の支援が多い。 正看護師が日中に配置されており、利用者の健康に的確に支援が行われている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	取り組んでいる。	入居時に利用者や家族に十分に説明し、納得を得ている。最期までホームでの暮らしを望む方にはそれに応えており、看取り介護の支援事例もある。ゆれ動く本人と家族の思いを踏まえ、状況に応じて家族、主治医、関係者と連携を取り合い、安心して最期を迎えられるようにと支援している。 また、管理者は症状別に重度化や看取りのマニュアルを作成し、特に夜勤時の支援資料として、周知徹底を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	独自の水害マニュアルを作成し避難が必要な際には、グループの小城に避難計画を立てている。	事業所がある地域一帯は、水害の被害が想定される所である。地域の避難場所よりも、より安全な避難場所を別に定めている。避難時に必要な物品はすぐ持ち出せるように準備している。定期的に避難ルートの確認と訓練を行っている。 消防計画により、夜間を火災発生を想定した避難訓練を、年に2回実施している。自動通報装置の設置も完了している。	昨年度分の目標達成計画票に、「夜間の災害時の救助・避難誘導に対する対策」を現状における問題点、課題として捉えており、具体的な取り組み内容が話し合われている。目標達成を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	取り組んでいる。	職員は、会社の基本理念である利用者一人ひとりの「尊厳の尊重」を大切にした支援である。利用者を目上の人として敬う精神は、「親しき仲にも礼儀あり」の接遇姿勢である。人生の先輩として、利用者から学ぶことも多い。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉かけをし、出来る限り本人様に選択して頂くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	必要に応じて対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	積極的に行っている。	以前はホームの台所での手づくりの料理であったが、現在は外部の配食サービスを利用した食事である。調理にかかっていた時間を、利用者とのふれあいに活用している。ご飯は台所で炊き、炊飯のにおいては、利用者の感覚を刺激している。 利用者は自分の意思で、職員と一緒に食事の注ぎ分けや食器拭き等をしている。他の利用者や職員からの「ありがとう」の言葉にやりがいや嬉しさを感じている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	出来ている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来ている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各利用者様に応じた対応を心掛けている。	一人ひとりの排泄習慣やパターンに応じてその方に合った排泄支援である。トイレ誘導は、自尊心に配慮してさりげなく行うように配慮している。パットやリハビリパンツ類の使用も、その方の状況に合わせて検討し、自立支援への手掛かりにしている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	勤務体制から日中での実施になっている。 日曜日の入浴を中止してその分、身体ケアの日に調整している。	基本的には2日に一度の入浴であるが、利用者の希望によっては毎日でも入浴ができる。これまでの生活習慣の延長で午前中からの入浴を好まない方もあり、入浴時間帯の強制はしていない。 日曜日の入浴を中止したのは、日曜日に多い面会と入浴時間帯の重複を避けるためや、入浴をしないでのんびりと一日を過ごしたいという利用者の意向に沿ったものである。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援できるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	随時、努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	支援できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な範囲で行っている。	コロナ禍で十分な外出支援は出来ていないが、季節や天候を考慮しながらの外気浴を行っている。新型コロナウイルス感染防止に十分注意しながら、事業所近くの梅林やお宮での初詣、車窓からの鯉のぼり見学や紅葉狩り等に出かけている。 外出制限がある分、七夕祭りに竹の器にそうめんを盛ったり、楽しい運動会を実施する等、レクリエーションを工夫して利用者の希望に応え、暮らしに変化をつけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な範囲で行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	可能な範囲で行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫できるように努めている。	利用者が一日を過ごす時間が多いリビングは、広く、かつ、安全に利用できるようと、テーブルやソファの配置換えをしている。また、リビングは南向きで明るく静かである。室温、湿度も適切に調整し、換気も行っている。トイレ、浴室も清潔で、利用者一人ひとりの状況に応じた支援ができるように工夫されている。全体的に居心地の良い環境整備である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	工夫できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫できるように努めている。	どの居室も利用者が落ち着いてゆっくりと過ごすことができる自分の部屋になっている。今まで使い慣れたタンスや鏡台、時計、家族写真、その他馴染みの品や思い出がある物が配置されている。位牌を持ち込まれた方もある。どの居室も家族の温かさが感じられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫できるように努めている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
		○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
		○	2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない